

新緑と踊り念仏と 上越市オリエンテーリング大会

木村佳司

親鸞聖人ゆかりの地。

新緑の中、無心になって走りつづける。体中に溜まりまくった世俗の汗が噴き出してくる。

新潟県上越市オリエンテーリング大会
2003年6月8日

新緑のシャワー

梅雨入りが予定より延びている。そんな爽やかな天気の中を汗だくになりながら走る。新緑、丘陵地、園地、展望台、神社、仏閣、五重塔、溜池、そして古い町並み。古い映画を早送りで見ている気分だ。コース中盤のコントロールには名水もあったぞ。確か「養老の水」と書かれていた。当然がぶがぶと名水をイッキ飲みする。

レースの中で流れる風景に「親鸞聖人・・・」とある。そうか、ここは古くからの聖地とも言える場所なのかも。そういえばさっき走りぬけた神社の境内には観光客が大勢いたよなあ。



これからスタート。新緑の中をトライ！

普段の生活の中で私はいわゆるメーカーに勤務する会社員。世俗の垢にまみれた生活をしている。私の会社も海外展開している多くのメーカーと同じく、新型コロナウイルスの影響をモロに受け、仕事のスケジュールにも大きく影を落としている。3月決算の時は一憂した。イラク戦争の影響も多少は受けた。カネと戦争。世界経済は今やグローバル、世俗の垢も今やグローバルなのだ。そんな中でいつ果てるとも知れない仕事に追われていると、いつ身体が空くか判らない。

そんな中だからこそ、天気の良い日曜日は無心に帰りたくなる。野性を呼び覚ましてみたくなる。オリエンテーリングはまさに現代社会の野性開放の時間だ。思い立ったら当日参加。エンジン进行せ高速道路で2時間、会場横付けで参加できる今回の大会はホントありがたい。

鈍りきった体だが、久々に走る森は気持ちがいい。暑さにバテながらも名水パワーで最後まで走る。

「小径 50m 先を右、すぐに道路を渡り再び小径。東方向から北東に角度を変えて 100m・・・」まさに現代の踊り念仏。レースを進めるうちに無心となり、何時の間にか気分は親鸞である。

継続する大会・進化する大会

上越市 OLC 大会の会場は国府別院というお寺の講堂。仏壇の前で初心者説明が行われ、開会式が行われた。普段は静かな巨大伽藍も今日だけは老若男女の声がこだまする。



巨大スタートチャイム？

レースが終わってからもお寺の温水シャワーが使用できる。この一点だけでも参加者としてはとてもありがたい。

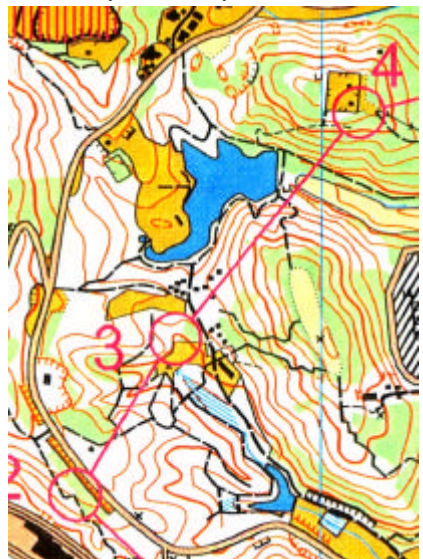
参加者数では小振な上越市 OLC の春の大会だが、気楽に参加するにはちょうど良い。気持ちよい自然とコンパクトな大会運営が日々のストレスから開放される時間を演出してくれる。

毎年、春と秋に大会を開催していたが、秋は参加者数が減少したため、今年からは春だけのイベントとなった。オリエンテーリング知名度の減少はあちこちで影を落としている。しかし、上越市 OLC 会長の高橋さんは「道楽」と割りきって笑顔で運営されている。



上越市 OLC 会長の高橋さん。
運営中をパチリ

今回使用したテレイン「五智」は上越の市街地から近い丘陵地である。面積も狭いが気楽に大会をするには最適の場所。ここ数年連続で「五智」での大会開催が続いたが、来年は新しいテレインにて開催すべく、目下地図調査中だそう。来年はどのような大会になっているのか？ それはこれを読んでいる皆さんの目で確かめに来てもらいたい。(木村佳司)



テレイン「五智」上越市街地近く